



|              |   |
|--------------|---|
| Title        | 大阪大学低温センターだより No.129 裏表紙  |
| Author(s)    |   |
| Citation     | 大阪大学低温センターだより. 2005, 129  |
| Version Type | VoR   |
| URL          | <a href="https://hdl.handle.net/11094/21213">https://hdl.handle.net/11094/21213</a> |
| rights       |   |
| Note         |   |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 〈編集後記〉

蛋白研からの初めての委員として、編集委員会に参加して約1年になります。私にとって、「低温センターだより」は、阪大ニュースなどとともに研究室の書架にある多くの出版物のひとつであり、ほとんど目次を見るだけのものでした。それは、生物物理化学や核スピン磁気共鳴を専門にする私にとっては、肩のこらない紙面を作っている「センターだより」でも、まだ、異分野の専門的な解説のような気がしていたからかもしれません。

そんなこともあり、編集委員になって何ができるのか心配な面もありました。しかし、編集長の北岡先生を中心として、関連部局から約10人ほど集まり、季節に一回行われる編集委員会に参加するようになって、案外、おもしろく思うことも、多々あることがわかりました。

その理由は：今回の記事の内容でも、私には一見関係がないようでもよく考えてみると、実は役に立つことが少なからずあること。阪大で行われている先端的な研究内容や設備について、一端だが聞けること。隣の部局でも、研究の興味や、建物を作る目的がわからないことが多くあります。大きな大学である阪大内での異分野交流としてもおもしろいこと。

また、逆に話を聞いていると、世間は狭く、共通の知人や興味などの話が異なるチャンネルから聞けること。低温センターの設備や苦勞、利用法など、今後の参考になることがわかること。編集委員として自分の関連する分野の人にも原稿を依頼して、これまでは掲載されなかった分野を紹介できること。

以上のようなことが反映できる、意外におもしろい「低温センターだより」にできればと思います。  
(藤原敏道)

大阪大学低温センターだより 第129号

平成17年1月 発行

編集責任者 北岡良雄  
発行者 大阪大学低温センター  
吹田分室 大阪府吹田市山田丘2番1号  
電話 (06) 6879-7985  
豊中分室 大阪府豊中市待兼山町1番1号  
電話 (06) 6850-6691

印刷所 阪東印刷紙器工業所  
大阪市福島区玉川3丁目6番4号  
電話 (06) 6443-0936 (代表)

# 目 次

No. 129

## 研究ノート

スピングラスにおけるカイラル帯磁率測定を試み

..... 理学研究科 谷口 年史 ..... 1

強相関電子系酸化物ヘテロ構造による

室温動作スピントロニクスデバイスの創成

..... 産業科学研究所 田中 秀和  
..... 川合 知二 ..... 6

## 談話室

カーボンナノチューブデバイス研究の最近の展開

.....産業科学研究所 松本 和彦 ..... 14

阪大強磁場を離れるにあたって .....極限科学研究センター 金道 浩一 ..... 18

運営組織 ..... 20

## お知らせ

投稿のご案内 ..... 21

定期購読・送付先変更について ..... 22

表紙説明：カーボンナノチューブFETの模式図（上図）と単一正孔トランジスタのクーロンダイアモンド特性（下図）。